

平成24年度 介護保険の利用状況と 介護予防事業の取り組み

介護保険制度は、社会全体で介護を支える仕組みです。市では、平成18年度から介護予防事業を実施し、19年度には地域包括支援センターを設置しました。そして、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で自立した生活ができるまちを目指し、同センターを中心とした「地域包括ケア」に取り組みんでいます。今月は、24年度介護サービスの利用状況と介護予防の取り組みについてお知らせします。

■要介護(要支援)認定者が増加しています

平成24年度末現在の要介護(要支援)認定者の総数は、5千79人で、前年度に比べ326人増加しました。12年度の介護保険制度開始当時と比べ3千542人の増となり、約3.3倍になっています。そのうち、居宅サービス利用者は2千946人、地域密着型サービス利用者は1511人、施設サービス利用者は802人で、全体では3千899人(認定者中76.8%)の方が介護サービスを利用しています。

■保険給付費が介護保険制度開始時の約3倍に

介護サービスの利用料のうち、9割相当は介護保険からの給付です。24年度保険給付費の総額は、グラフのとおり、約68億9千500万円、前年度から約4億4千700

万円も増えていきます。介護保険制度開始時と比べると約45億9千250万円の増で、約3倍の増加率です。この財源は、40歳以上のの方

保険料と国・県・市の公費で賄われていて、このままでは、介護保険の財源が不足してしまう危険があります。

■介護予防事業にご参加を

そこで、介護を必要とせず健康で暮らしていけるように、65歳以上の方を対象とした通所型介護予防事業「元気アップ教室・ちゃきちゃき倶楽部」を、奥富と狭山台の2か所で行っています。

各教室では、栄養改善や足腰などの機能向上を図る「総合コース」(週2回・3か月)を年24回、かんだり、飲み込んだりする力の向上を図る「かむかむコース」(週1回・3か月)を年8回開催し、合わせて303名の方が参加しました。こうした介護予防の取り組みは、健康の維持はもちろん、行動範囲の広がりが生きがいづくりなどにも大きな効果が期待できます。

■地域包括支援センターは高齢者の総合窓口

市内5か所にある地域包括支援センターは、高齢者支援の拠点として、主任ケアマネジャーや保健師、社会福祉士などの専門職員が連携をとりながら、総合的に高齢者の皆さんの支援を行っています。

- ① 高齢者の皆さんやご家族から相談を受け、必要な支援を行います
- ② 要介護状態になるおそれの高い高齢者や要介護認定で「要支援1」「要支援2」の認定を受けた方を対象に、一人ひとりの生活に合わせた介護予防ケアプランを作成します
- ③ 高齢者虐待への対応や成年後見制度の活用支援を行います
- ④ ケアマネジャーへの支援と、医療機関や介護保険事業者などとの連絡調整を行います

■お気軽にご相談を

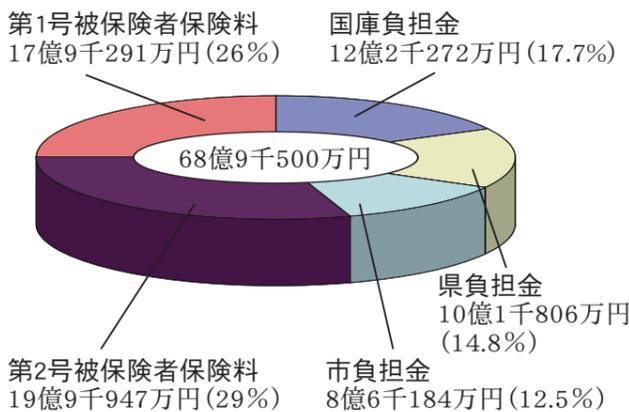
今後、介護サービス利用者や保険給付費の増加が見込まれる中、本望に望まれることは、介護サービスを受けるに、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、いつまでも健康で安心して暮らしていけることです。健康に関する情報や知識が必要と感じたり、健康づくりや介護予防事業でご不明な点がありましたら、お近くの地域包括支援センターか介護保険課にお気軽にご相談ください。

問合せ介護保険課へ内線1551



介護予防事業「ちゃきちゃき倶楽部」のようす

○介護保険給付費の財源内訳(グラフ)



○給付費にみる介護サービスの利用状況

サービス内容	給付費	対前年増減率(%)
①居宅サービス	34億4,235万8,342円	8.2
訪問介護	4億8,161万8,966円	8.6
訪問入浴介護	4,062万6,342円	28.3
訪問看護	1億8,085万2,056円	13.8
訪問リハビリ	1,715万5,645円	131.7
通所介護	10億9,722万6,800円	6.9
通所リハビリ	3億4,906万904円	11.3
福祉用具貸与	1億9,938万7,762円	9.5
短期入所生活介護	3億5,526万8,061円	0.1
短期入所療養介護(老健)	2,825万7,241円	6.5
短期入所療養介護(療養型)	13万6,809円	641.5
居宅療養管理指導	3,188万6,652円	31.5
特定施設入居者生活介護	2億2,663万3,388円	5.9
特定福祉用具販売	1,143万1,258円	△14.8
居宅介護住宅改修費	4,287万4,904円	16.6
居宅介護支援・介護予防支援	3億7,994万1,554円	9.0
②地域密着型サービス	3億6,697万7,904円	17.4
認知症対応型通所介護	4,363万5,819円	46.3
認知症対応型共同生活介護	2億1,990万3,391円	11.5
小規模多機能型居宅介護	1,367万4,597円	1123.2
夜間対応型訪問介護	74万9,589円	-
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	8,901万4,508円	5.3
③施設サービス	26億4,391万8,294円	3.2
介護老人福祉施設	13億6,268万4,387円	12.3
介護老人保健施設	8億5,213万4,649円	△3.9
介護療養型医療施設	4億2,909万9,258円	△7.0
計(①+②+③)	64億5,325万4,540円	6.6
④		
審査支払手数料	1,034万6,205円	8.1
高額介護サービス等費	1億1,954万8,689円	8.6
高額医療合算介護サービス等費	1,976万3,948円	11.1
特定入所者介護サービス等費	2億9,209万8,950円	14.2
保険給付費①+②+③+④	68億9,501万2,332円	6.9

市長随想 ⑩

子どものころの思い出

7月に市長就任10年を迎え、「市長随想」も今回で100回となりました。この欄は私の唯一気の許せる紙面であり、私の生き様を楽しく書いておりましたが、最近では題材を見つけるのが大変で、机を前に何を書こうか迷ってしまう事がしばしばです。

今改めて子ども時代を振り返ってみました。昭和16年12月に私が生まれた時は8人家族でしたが、その後、弟が生まれ母は忙しく、父や叔父2人が出征、祖母も病弱でしたので、私は祖父と一緒に布団に入り、その体温を感じながら育ちました。祖父は、私

を家の後継ぎとして大事に育ててくれ、いつも、地域の昔話や出来事を優しく語ってくれました。

私の一番古い記憶は、出征する兵隊さんが学校の朝礼台であいさつをし、入曾駅から日の丸を振って見えなくなるまで見送ったことです。そして敗戦。叔父たちが復員し、配給のきざみ煙草を家の縁側で分けていたこと、都内から買い出しの人がわが家へ訪れたこと、暗くなるまで畑仕事をしなかな帰らない家族を弟と2人で待っていたこと、私の入学式に着物をきた祖父が一緒に行ってくれたことなど、多くのことを思い出します。現代では到底想像もつかない、思いの詰まった幼少期でした。



狭山市長 仲川 幸成
似顔絵・花倉正喜氏

市長の主な動き

- 10/2…埼玉県市長会役員会
- 10/7…入間基地への要望活動
- 10/8…定例庁議、埼玉県市長会定期総会・研修会
- 10/10・11…全国都市問題会議
- 10/15…埼玉県市長会要望活動
- 10/17・18…埼玉県西部地域まちづくり協議会視察研修
- 10/21…地方自治人権政策フォーラム、県知事等要請行動
- 10/23…定例庁議、振興計画審議会
- 10/25…ふれあい市民懇話会